



2022年9月30日

各 位

上場会社名 株式会社アーレスティ
代表者 代表取締役社長 高橋 新
(コード番号 5852)
問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 清水 敦史
(TEL 03-6369-8664)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月18日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の連結業績予想(第2四半期累計・通期)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,000	△500	△650	△700	△27.14
今回発表予想(B)	65,700	△1,500	△1,400	△1,500	△57.92
増減額(B-A)	700	△1,000	△750	△800	
増減率(%)	1.1	—	—	—	
(ご参考)前第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	54,647	△1,943	△1,680	△1,780	△69.16

(2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	141,000	1,900	1,450	900	34.90
今回発表予想(B)	145,300	1,200	1,000	300	11.58
増減額(B-A)	4,300	△700	△450	△600	
増減率(%)	3.0	△36.8	△31.0	△66.7	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	116,313	△2,422	△2,032	△5,189	△201.23

(3) 修正の理由

第2四半期連結累計期間における売上高は、半導体の供給不足や上海ロックダウンによる自動車生産台数減少の影響を受け、当社グループの受注量も期初予想から減少する見込みとなりました。受注量が下回る一方で、アルミ地金市況に連動した売上高の増加影響と為替レートが期初業績予想よりも円安水準で推移したことにより、金額ベースでは前回発表予想を若干上回る見通しです。

利益面については、原価低減や生産性改善に努めているものの、自動車減産影響に加え、想定を上回るエネルギー価格等の高騰に伴う生産コストの増加影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しです。

通期の連結業績予想につきましても、第2四半期連結累計期間の実績及び現時点での見通しを踏まえ、上記のとおり修正となりますが、第3四半期以降（2022年10月～2023年3月）の業績については、自動車減産影響が一定程度続くものの、売上重量の回復に加え、アルミ地金市況の見通しやエネルギー価格高騰影響の販売価格への反映見通しから、地域差はあるもののグループ全体での収益性は回復基調で推移する見通しです。

為替レートにつきましては、135.0円/米ドル、20.0円/元、1.70円/インドルピーを前提としております。

なお、配当予想につきましては、2022年5月18日公表（中間、期末ともに1株につき5円）から変更はありません。

（注）本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	60,000	59,700	△300	1,000	300	△700
ダイカスト事業 北米	34,300	37,800	3,500	0	△250	△250
ダイカスト事業 アジア	34,400	35,700	1,300	450	700	250
アルミニウム事業	8,200	7,700	△500	200	300	100
完成品事業	4,100	4,400	300	250	250	0
セグメント間取引消去	—	—	—	0	△100	△100

為替レートの前提（第3四半期以降：135.0円/米ドル、20.0円/元、1.70円/インドルピー）

（前回予想：125.0円/米ドル、19.0円/元、1.65円/インドルピー）

以 上